

第42回全国高等学校総合文化祭
2018信州総文祭【美術・工芸部門】参加報告



平成30年8月7日(火)から8月11日(土)まで、標題の大会が長野県上田市サントミュージゼにて開催されました。本校美術部の生物生産科坪田茉夕さんの立体デザインの作品「織(しき)」が島根県代表作品として出品されました。

期間中の8月11日(土)には、美術・工芸部門の記念式典、記念講演会、作品講評会、交流会が実施され、出品者の坪田茉夕さんが参加しました。

記念講演が興味深い内容であり、とても勉強になる講演でした。坪田さんの作品は、上位入賞作品に選出されませんでした。参加生徒同士の交流会があり、他県の生徒の作品制作への思いや苦労した点などがとても参考になったようです。

PTA 部活動振興費会計からは、交通費、宿泊費をご援助いただきありがとうございました。今後の美術部の活動につながる意義深い研修になったと感じています。

参加した生物生産科3年の坪田茉夕さんの感想です。

「私は、このような大規模な会場に作品を展示させてもらい、とても感謝しています。ありがとうございました。特に総文祭参加者の高校生との交流会がとても有意義でした。作品を観ただけでは分からないような制作過程での苦労や、誰をモデルに描いたのかなど、作者に直接話を聞くことができ、勉強になりました。また、私の知らない、触ったこともないような画材の話や、描いている環境ならではの工夫点なども聞いて、面白いと感じました。他にも、学校のことや地元自慢、趣味の話などで盛り上がり、作品のメッセージ交換などを通して、交流が深まり、勉強になりました。とても、貴重な体験のできた1日になりました。後輩たちには、是非全国大会参加を目指して努力してほしいと感じました。学校に帰ったら、後輩たちに全国大会で勉強したことを伝えて行きたいと思います。今回私が参加するにあたり、島根県高等学校文化連盟と松江農林高校のPTA 部活動振興費会計より交通費や宿泊費をそれぞれご援助いただきました。本当にありがとうございました。」

現在美術部員は、1年4名、2年2名、3年3名の計9名で活動しています。12月の高校美術展に向けて、来年の全国大会代表を目指して頑張っています。今後とも応援よろしくお願いします。

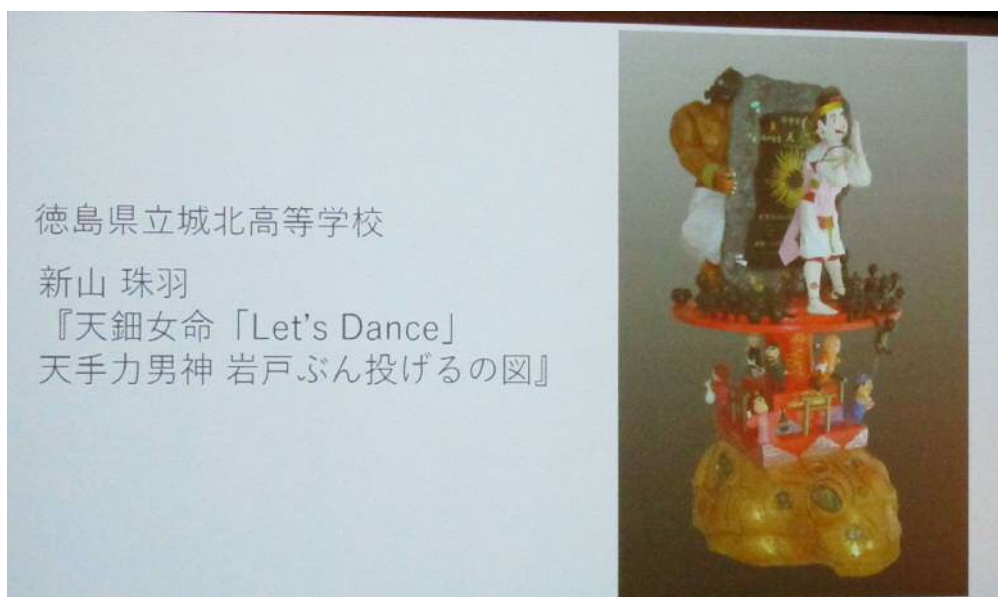
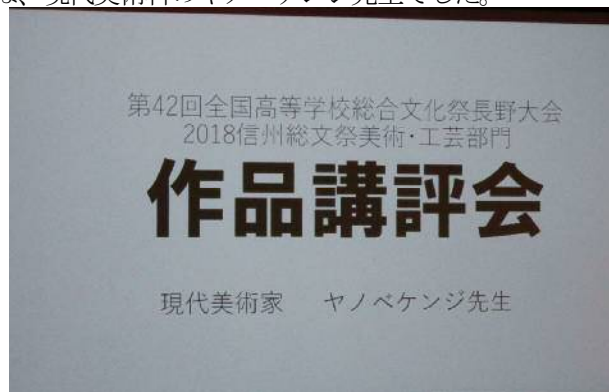


← サントミュージゼ展示会場にて
出品作品「織(しき)」と坪田さん

交流会で、他県の生徒と作品鑑賞する坪田さん ↓



以下は、8月11日に行われた、作品講評会で優秀作品として紹介された、いくつかの作品紹介です。講評されたのは、現代美術科のヤノベケンジ先生でした。



広島県立広島皆実高等学校
石橋 修平 『思考汚染』



愛知県立木曾川高等学校
渡邊 策哉 『電心音』



福井県立丹南高等学校
高須 萌 『Let's Cleaning』



熊本県立御船高等学校
宮下 ゆり 『横綱土俵入り』



宮城県 聖ウルスラ学院英智高等学校
松田 和
『石巻市田代島の観光PRのための提案』



兵庫県立加古川西高等学校
横田 ひなた 『魅惑的民族衣装』



宮崎県宮崎日本大学高等学校
長谷川 華子 『6°C』



青森県立三本木高等学校
一戸 絃乃 『見返り友人図』



奈良県立平城高等学校
谷沖 茜 『playful!』



大分県立日田三隈高等学校
高原 李直 『Guarded me』



群馬県高崎市立
高崎経済大学付属高等学校
武藤 萌 『アオイキトイキ』



鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
松岡 拓海 『無謀な委託』



三重県立いなべ総合学園高等学校
千種 風香 『ジオ』



富山県立富山北部高等学校
松田 優希 『空中浮遊』



兵庫県立八鹿高等学校
上仲 葉音 『共存』

